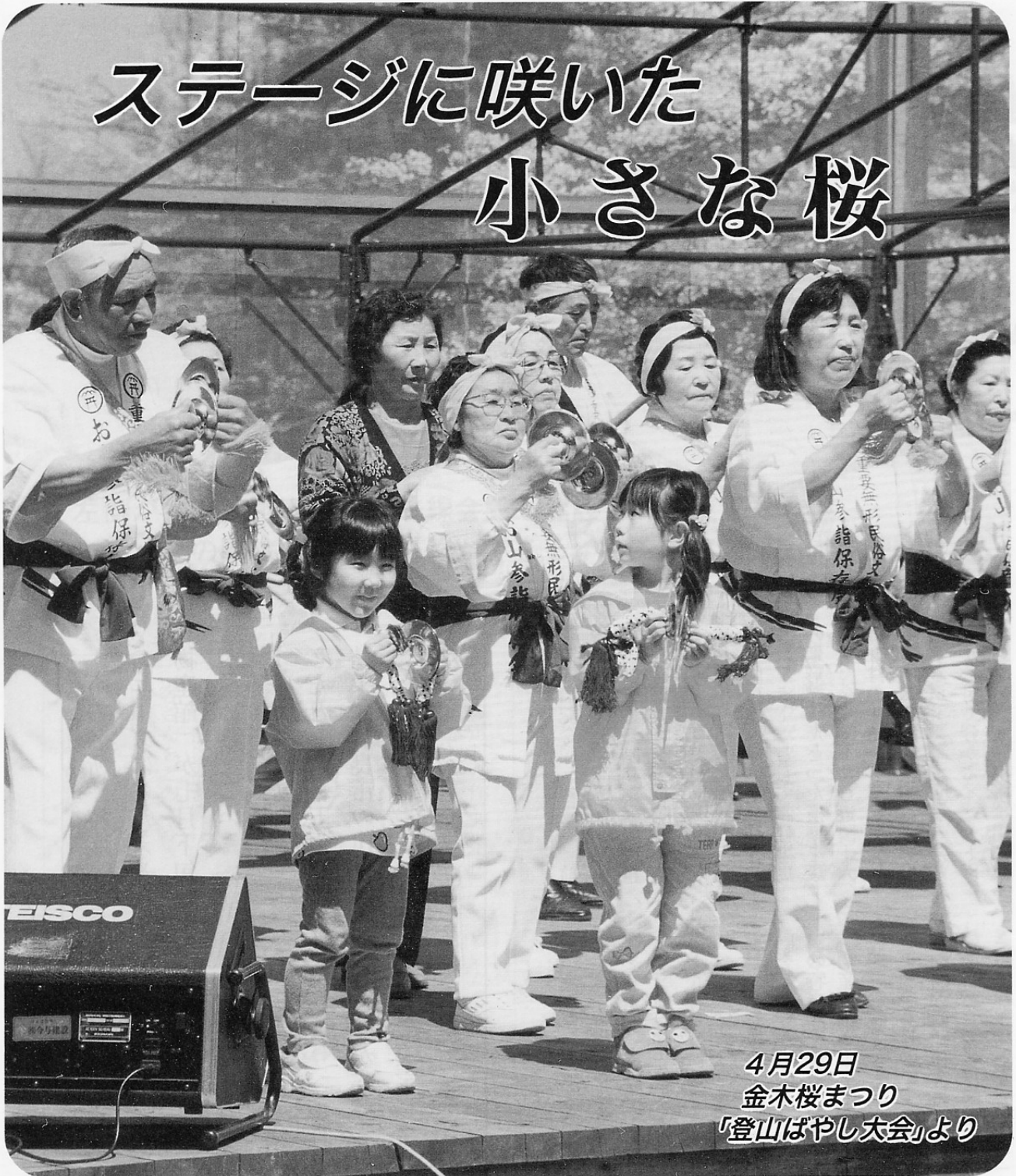
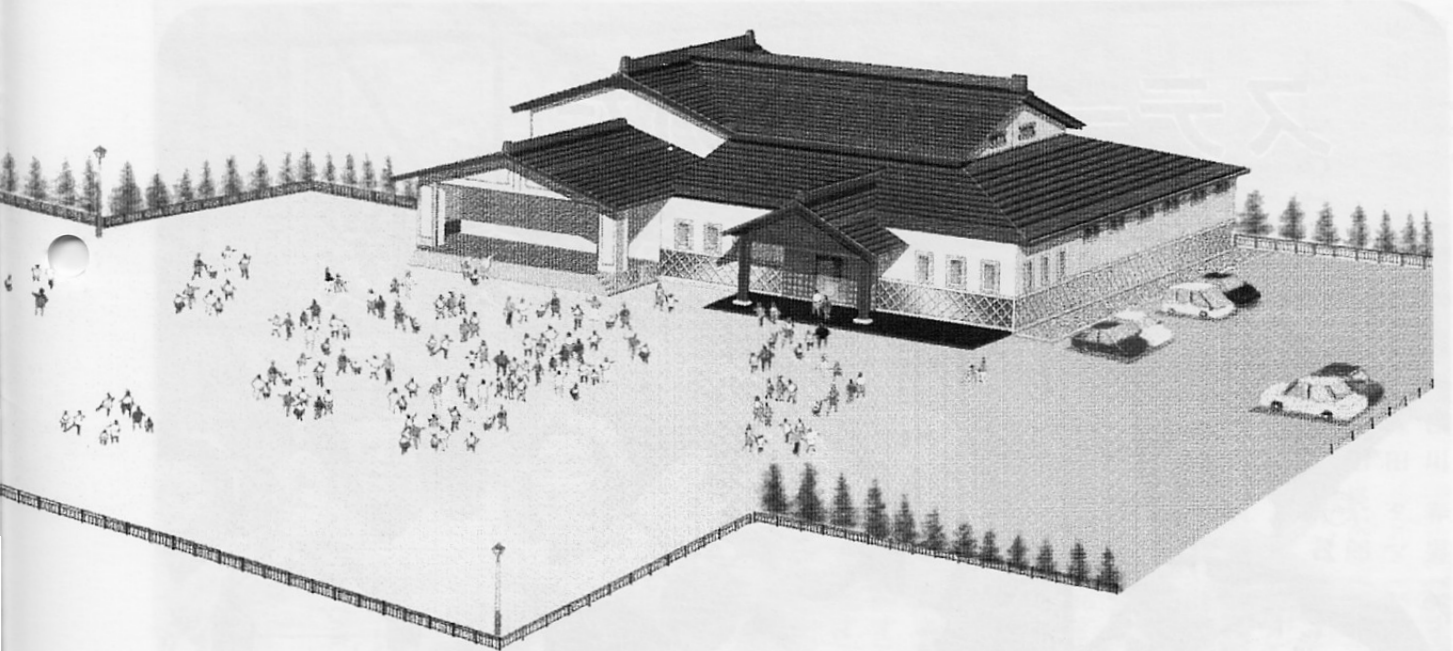


ステージに咲いた 小さな桜



4月29日
金木桜まつり
「登山ばやし大会」より

マディニー 『MADENY』



町の名所や特産品をPRし、訪れる観光客のニーズにこたえるための施設「金木町観光物産館」が七月下旬のオープンに向けて工事が進められていますので、この施設の紹介をします。また同館にふさわしい名称の募集をしたところ百五十九点の応募があり、審査の結果、喜良市の伊丸岡千花子さんが応募した「MADENY」（マディニー）に決定しました。

大宰治記念館「斜陽館」前の敷地約千五百平方メートルに、鉄骨造二階建て総床面積約七百万平方メートル、建設費約三億三千万円をかけて建設されます。

一階には「津軽半島観光PRコーナー」として津軽半島の地形をかたどった模型を設置し、金木町を含む近隣十六市町村の観光スポットや交通アクセスなどの情報案内を検索するゾーンや、四季の祭りが一目で分かるイベントカレンダー、友好都市・山梨県

河口湖町を紹介するコーナー、町のガイドブックや歴史、文化を写真などを使って掲示します。また観光ルートガイドとして津軽平野コース、奥津軽コース、西海岸コース、太宰コースを設けて津軽半島一円を紹介。そのほか、津軽半島の特産品を展示、販売する「物産展示コーナー」や郷土料理を堪能できる「交流コーナー」があります。二階は会議や訪れる団体客の食事、休憩場所として多目的に利用できるスペースとなります。

金木町観光物産館

名称は



左側が物産館。右側に三味線会館も建設される予定で、
その間は各種の催し物ができるイベント広場（完成予想図）

建物の外観は、斜陽館や周辺の家並みとの調和を考え、内・外装にひば材を使用して斬新なものではなく、金木町の顔としてふさわしいデザインの造りとなります。

また隣接する三千七百平方メートルの敷地に、鉄骨造平屋建て総床面積約七百三十平方メートル、総事業費約六億をかけてイベント広場と津軽三味線会館が建設されます。

この事業は、商店街活性化のために集客力を高める施設

として六月中旬に着手、十二年度内の完成を目指しています。会館内は、二百五十人収容可能な多目的ホールや津軽三味線のルーツを紹介する展示室、金木町出身の著名人を紹介するスペース、さらに併設させて野外ステージを備えています。また、周辺一帯はイベントなどの催し物に対応できる広場を整備します。

両施設の建設は町の活性化や、津軽半島一円の情報発信の拠点となる施設です。

入選した作品は家族で十通位応募した中の一点。まさか私の作品がーと、ちよつとビックリしながら満面の笑み。津軽弁にこだわった、という名前は「お客さんをどのようにもてなすか、そして“金木らしさ”を表現した言葉を考え、ひら



伊丸岡千花子さん

めいたのが「ていねい」という意味の津軽弁「までいに！」。

名付け親になり「感謝、感激」とまたまた笑顔・笑顔…

——'99 金木桜まつり——

ぴったり 満開



◀ テープカットで
さあまつり開幕

金木桜まつりが四月二十九日から五月五日までの一週間、県立芦野公園で開かれ、期間中県内外より約十五万人の花見客が訪れました。

今年も、二十九日のまつり開幕に合わせたかのように公園内の二千二百本の桜が満開となり、開幕を待ち兼ねた花見客が公園内の至る所で酒宴を楽しんでいました。

初日に登仙岬入口で開会式が行われ、鳴海町長が「今年度は丁度よい開花に恵まれました。金木の桜まつりで英気を養って下さい」とあいさつ。



◀ さくらのトンネルを
走れ!! メロス号

続いて、来賓によるテープカットで開幕を祝いました。

まつり期間中前半は好天が続き、各種スポーツ大会では選手たちが熱戦を繰り広げ、歌謡ショーや花火大会等のイベントは大勢の人たちでにぎわっていました。後半は、天候がくずれたため、桜の散りも早く人出は伸び悩みましたが、最終日に行われたRAB杯カラオケ大会には、会場の金木小学校体育館に入りきれないほど観客が詰め掛け、出場者の歌声に酔いしれていました。

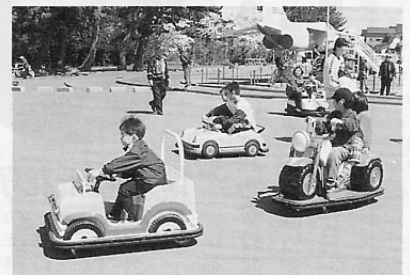
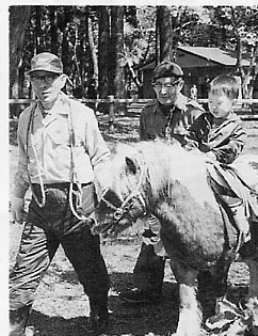


▲募金、迷子さがしに大活躍
金木高校JRC委員会



▲楽しいショーに拍手と笑顔

子どもたちのさくらまつり



第11回 津軽三味線 全日本金木大会

▶グランプリ・仁太坊賞
二連覇の吉田健一さん
(北海道・登別市)



第十一回津軽三味線全日本大会が五月四日、金木小学校体育館で行われ、全国各地から集まった九十一人、十三団体が日ごろの成果を競い合いました。雨天により会場が変更されたものの、大勢の三味線ファンらが詰め掛け、出場者の見事なバチさばきに大きな拍手と声援を送っていました。

大会に先立ち行われたセレモニーでは、参加者と関係者が、川倉養の河原地蔵尊内にある津軽三味線の始祖、神原の仁太坊ゆかりの品等が合し



されている「津軽三味線塚」と公園内の「三味線碑」に献花。



▲緊張した表情でじっと出番を待つ

▼息の合ったバチさばき



地元出場者 紹介



▲個人・一般B級に出場
吉崎ゆうこさん(金木)

金木町大枝会

風を截る音色
津軽の魂が宿る



▲訓練礼式を披露する金木町消防団の精鋭

消防団員 勇姿を披露

定期観閲式

五月三日、芦野グラウンドで金木北部消防団連絡協議会（会長 榊引幸雄）主催による定期連合観閲式が、金木町、中里町、市浦村、小泊村の各消防団員や団員、合わせて七百七十人余りが参加して行われました。

はじめに殉職消防職員、団員に対して黙とうをささげ、つづいて、姿勢、服装、機械器具点検が行われました。

その後、模擬演習が行われ、金木町消防団による訓練礼式、嘉瀬婦人防火クラブらによる消火訓練が披露されました。

この後、各分団員全員による見事な分列行進が行われ、消防団員の勇姿に来賓や家族らが大きな拍手と声援を送っていました。



この観閲式で行われた各表彰の受賞者は次の通り。
(金木町分)

◆青森県知事表彰

▽永年勤続功労章

- 分団長 須崎 悠悦
- 副分団長 秋元 秀樹
- 副分団長 泉谷 久友
- 団員 米谷 猛

◆日本消防協会会長表彰

▽精績章

- 副団長 中村 健男

◆青森県消防協会会長表彰

▽優良消防分団

- 金木町第4分団
- 金木町第5分団

▽勤功章

- 分団長 津島 照光
- 分団長 須崎 悠悦

▽二十五年勤続章

- 分団長 須崎 悠悦
- 副分団長 秋元 秀樹
- 副分団長 泉谷 久友
- 団員 米谷 猛

▽二十年勤続章

- 分団長 津島 照光
- 分団長 沢田 文則
- 副分団長 加藤 良一

▲長年の功績が認められての表彰



▽十年勤続章

- 部長 浜田 和人
- 班長 中野 治
- 班長 米谷 廣明
- 班長 松川 幸喜
- 班長 工藤 達男
- 班長 白川 清文
- 班長 平川 鉄美
- 班長 斎藤 知幸

◆青森県消防協会 北五支部長表彰

- 部長 三瀧成太郎
- 部長 小松 達弘
- 班長 桑田 直喜
- 班長 竹内 将
- 班長 黒滝 博巳

◆西北五消防団 連絡協議会長表彰

- 部長 新岡 幸浩
- 部長 外崎 誠一
- 部長 泉谷 和宏

◆金木北部消防団 連絡協議会長表彰

- 班長 鳴海 恭治
- 班長 松尾 壽雄
- 班長 其田 臣正
- 班長 三上 満
- 班長 吉崎 弘芳
- 班長 松橋 実